

地域生活交通に係る調査特別委員会 摘 録

1. 開催日 令和8年1月20日(火) 第2委員会室
2. 出席委員 谷口隆明委員長 前田智永副委員長 松本みのり 堀井慎一郎 桜田亮太 堀内富夫
桂藤和夫議長
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 島田虎往議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 植木佳那子議会事務局主事
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 福山権二副議長
7. 傍聴者 4名(うち議員4名)
8. 会議に付した事件
1 付託事項の審査について

午前11時10分 開 議

○谷口隆明委員長 ただいまから地域生活交通に係る調査特別委員会を開会します。全員おそろいですが、委員外議員の福山副議長も出席でございますので、直ちに会議を行います。委員会において傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しております。私の体調もあり、第2回が遅れて大変申し訳ないのですが、今日の委員会で調査の目的や方向性について一定の結論を出したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

1 付託事項の審査について

○谷口隆明委員長 最初に、先般皆さんに連絡しておりますが、前回の委員会の報告書について委員長、副委員長でまとめたものを提案させていただきたいと思っております。その前に、皆さんから前回の委員会のまとめを読まれての御意見や御感想がございましたら発言していただいて、その後に私から説明したいと思っております。皆さんどうですか。読まれて、特に感想等はございませんか。堀井委員。

○堀井慎一郎委員 前回の報告書の最後にも、今回の調査報告は序章であって入り口に立ったものと捉えるということで、委員会としてはまだ中間報告的などいいますか、そういう位置づけをされているのかなと感じました。今回、調査をしていくに当たっては、前回調査ができていなかった部分を含めて、委員会としての提言といえますか、こういう施策が必要なのではないかと、もう少し具体的なものまで提案できるようなものになればという思いは持ちました。

○谷口隆明委員長 その他の委員さん、何かございますか。堀内委員。

○堀内富夫委員 具体的な話になるのかもしれませんが、高校生の通学に関する課題と、高齢者の生活交通に関する課題は若干意味合いが違うのかなというのがあって、そこを一緒にたにせずに切り離して考えたほうがいいのかという感想を持ちました。

○谷口隆明委員長 その他ございますか。ないようでしたら、皆様のところ地域生活交通に係る調査特別委員会提案書を配付しておりますので、それに基づいて簡単に説明したいと思います。この付託

事件は本会議で可決しましたように、地域生活交通に関する調査を行うためということで、定数、委員構成等はここに書かれているとおりです。この特別委員会は、議会閉会中も付託事件の調査を継続し、設置の期間は議会で本件の終了の報告を行うまで存続すると。先ほど堀井委員からありましたように、できれば提言も含めてできるように、そこまで行うということです。調査目的は、第3期庄原市長期総合計画にもありますが、どこに住んでいても自由に移動ができる地域生活交通の在り方について全般的に調査するという目的で行いたいと思います。調査の方向性ですが、前回の調査特別委員会の報告書の到達点と今後の課題ということで書いております。前回の調査特別委員会は令和6年6月に設置して、3月25日に報告していますが、ちょうど選挙も重なりまして実際は12月までの本当に短い調査でした。その限られた期間でしたが、JR芸備線の通学実態や、夜間タクシー運行終了の影響、各地域のデマンド型交通の現状、それと実際に委員が芸備線も含めて各交通機関に乗車体験をして調査を行いました。到達点については、公共交通機関が十分でないということもあるのですが、高校生の通学における保護者の送迎割合が60%という実態や、高校生の場合は特に西城紫水とか日彰館あたりの学生の利用率が非常に高いということで、JRの重要性が確認できました。それからタクシー事業者、旧庄原市内、東城のタクシー事業者を中心に各委員が分担して調査をしたのですが、共通して深刻な乗務員不足であること、それからカスタマーハラスメントにより、なかなか夜間運行が難しいということが浮き彫りになりました。また、デマンド型交通が過疎化・高齢化の中で地域の交通手段として期待されている一方、利用者との丁寧なコンセンサスを得ることが必要ということが確認されました。今後の課題について、前回は時間的に制約がありましたので高速バス、路線バス、地域生活バス及び一部の地域についての調査が未完了になっています。高野や口和については調査しましたが、そのほかは十分できていませんので、これらの未調査項目を補完して、頼りにされる地域生活交通の再構築に向けた具体的な検討を進めることが急務だと思っております。2点目に、庄原市の地域公共交通計画の特徴と進捗状況の確認と書いていますが、今年の3月をめどに新しい地域公共交通計画が策定中ですので、特徴を理解し、現在の進捗状況を確認するため担当課にお話をお聞きしたいと思います。計画の特徴は、生活を支え、交流を楽しみ、みんなで育むを基本理念として、全市的なマスタープランに加え、地域ごとの課題に対応した地域別実施計画を策定しているのが特徴です。人口カバー率は95%以上、総領や口和など100%のところもありますが、全体では95%以上、利用者数34万以上といった具体的な目標を設定していました。令和5年度に設置された地域交通課に対して、今年の3月に策定予定の次期計画に向けての進捗状況と運行状況の説明を求めたいと思いますので、次回の委員会でお呼びしたいと思います。それを受けて3点目に、今後の調査の方向性として、1市6町が合併した非常に広い地域で地域ごとの交通体系に特徴がありますので、各地域の実情をしっかりと調査したいと思います。そのために自治振興区を通じた把握ということで、各地域における具体的な交通課題を収集するために、自治振興区や社会福祉協議会などの福祉関係者、PTA等から直接市民の声を聞きたいと思っております。前回の調査では利用者の声が十分聞けていなかったもので、その点を中心にヒアリングを行いたいと思っております。それから地域別の実態調査を行います。特に買い物や通院の行き先が地域によって全く異なっておりますので、そうした点もさらに調査して、どこに住んでいても家の近くで乗り降りしたいという高齢者のニーズも反映した路線の在り方等について検討を行いたいと思っております。JR芸備線の問題については、先ほど別に考えてということがありましたが、今、再構築協議会が行われ、議員全員協議会等で逐次報告されております。高校生の通学の

手段の改善等あるかも分かりませんが、そちらに主な議論はお任せしたいと思っております。教育民生常任委員会とのすみ分けですけれども、内容がかぶるので、大まかなすみ分けをしたほうがいいのではないかということで、教育民生常任委員会には所管事務として各個別の事業について、特に予算決算審査を中心に担当していただきます。本特別委員会は、特定の事業にとどまらないで、まちづくりの観点から生活交通全般を再構築するための戦略的調査を担当します。具体的には、1次交通と2次交通の接続性の問題や、Ma a S、日本版ライドシェア等の新技術の導入、それから公共交通全体の持続可能性を高めるための広域的なネットワークの再編に特化して調査、提言を行うことにしたいと思っております。まとめのところに書いてありますが、訂正をお願いします。1行目に、教育の足、福祉の足、地域の足ということで、国交省等の文書にもこういう書き方がしてあるのですが、庄原市では以前から議会で、足という言葉はよくないという議論がございましたので、ここは教育・福祉・地域の移動手段というパズルのピースを、持続可能な地域交通という大きな絵としてつなぎ合わせる作業に、という考え方で行っていきたいと思っております。ですから、全体をどのように総合的にまとめていくかということで、提言が行われればいいなと考えております。そういう流れで調査を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。松本委員。

○松本みのり委員　　利用者の声をしっかり聞いていくニーズ調査、そして、それに対して実態がどうなっているかをしっかり見ていくというのは大事なことだと思います。前回の公共交通計画の中で、目標数値として人口カバー率を取り上げて、口和でしたら100%ですよという話がありました。しかし、人口カバー率は100%でも、実際に使いやすい、使える交通になっているかという点と全然違ったものになっています。その辺りを人口カバー率ではなく、使いやすさ、本当に使える交通になっているか、そうするために何ができるかをこの委員会で見ていけたらと思っております。

○谷口隆明委員長　　カバー率だけではなく、使いやすさ、本当に住民のためにうまくいっているかどうかということを具体的に、という意見でした。大事な意見なので、そのように取り組みたいと思います。その他ございますか。副委員長。

○前田智永副委員長　　4番の教育民生とのすみ分けで少し委員長に触れていただきましたけれども、JRに関しては再構築協議会の対応をさせていただいているというところで、議会全体で取り組んでいかなければいけないと思っております。今、実証事業もされている中ですので、あえて今回はこの委員会の調査項目に挙げないとしているのですけれども、この特別委員会で取り組むこととして、1次交通と2次交通の視点は必要だと思います。JRのダイヤも把握した上で、どのように路線をつなげていくのか。ライドシェアとか、そういった新しい取組をつなげていくのかということも、視点の一つとして置いておいたほうがいいのかと思います。

○谷口隆明委員長　　高速バスとか、その路線、各地をつなぐ大きな1次交通と、個別の地域の路線バスやタクシーの接続も含めて、いかに住みやすいまちづくりをするかという点が大事だと思いますので、御意見ありましたように、1次交通と2次交通の接続の問題の検証等も含めて行っていきたく思います。その他ございますか。副委員長。

○前田智永副委員長　　先ほど、調査報告書の御感想の中で、堀内議員から通学の面と高齢者の利用のしやすさという面を切り離したほうがいいのではないかという思いを言っていただきました。私もよく分かるのですけれども、今、実態として事業者自体の存続がどうかという、非常に厳しい経営になっているということがよくよく分かりました。今からは人口も減少していく中で、どのようにつなぐか。

こことここをつないだら、二つの事業を一つにしてうまく回せるのではないかと、使いやすくなるのではないかとという視点が大事なのではないかと思うので、私の感想として皆さんに共有したいと思いました。よろしくをお願いします。

○谷口隆明委員長　　今ございましたように、事業者の調査をしたのですが本当に経営が大変で、通学手段等で市からタクシーとかの委託を受けているのでかなり助かっていると。一般の運営だけではぎりぎりだし、運転手も不足しているし、もういつやめてもいいかという声が聞こえるような状況ですので、報告書にもありますが、行政からの一定の支援も含めてやっていかないと、庄原市のタクシー業者はなかなか存続が難しいのではないかと。そういう点も含めて、実態をよくつかんでいきたいと思えます。堀内委員。

○堀内富夫委員　　それに関して、事業者にこちらから赴いてヒアリングをされていると思うのですけれども、全部の事業者に集まっていたいて、それぞれの課題の洗い出しとかはされたのでしょうか。

○谷口隆明委員長　　それはやっていません。先ほど言いましたように限られた時間なので、個別に班を組んで2人ぐらい体制で各事業所を回って、同じ形式で車の所有台数とか経営状況とか運転手の数とかいうことを聞いていただけです。全体に集まってもらうということはできていません。

○谷口隆明委員長　　堀内委員。

○堀内富夫委員　　僕も全部把握し切れていないのですけれども、タクシー事業者さん同士の縄張りが何かあるのですよね。そういうのもあると思いますし、1次交通と2次交通の接続はすごく大事だと思うのですけれども、地域特性的に2次交通と2次交通の接続も考えないといけないうのかなと思っています。その辺りも含めて調査していけたらいいのではないかと思います。

○谷口隆明委員長　　前田副委員長。

○前田智永副委員長　　前回の特別委員会でもその議論がなされたのですけれども、市の事業の中で交通会議というのがあって、事業者の皆さんが一堂に会して話し合いをしているという実態もあったのです。そこは市としてということと、委員会としてということのすみ分けが必要ではないかという議論もありました。そこも含めて次回、担当課にいろいろお伺いする中で、その後どうしていくか、本当に必要であればこの委員会でということも視野に入れて検討が必要かなと思いました。

○谷口隆明委員長　　他にございますか。桜田委員。

○桜田亮太委員　　ここに書かれている提案書は、私としては大変いいことが書かれているなど。則ってやっていけばいいと思うのが1点。ただ、最初に言えばよかったのかもしれないのですが、令和7年3月の最終報告、前回されたメンバーの方は委員長、副委員長がいらっしゃるのですけれども、最終的には議員自身が地域生活交通を利用していないということがあります。そして、まとめのところに、実感ある地域生活交通の在り方を検討するためには、日頃より使用中で実態に即して行うべきと痛感したとあるということは、委員である以上、我々がまず状況を把握し、どういう状況なのかを分かった上で議論をしないと委員会をする意味がないと思うのです。委員になった以上は積極的に活用し、意見収集しながら問題提起をしていけるような委員会を今後つくっていくべきだと思います。そういった行動を各自していきたい、その辺を取り組みたいと思います。

○谷口隆明委員　　委員が積極的に地域公共交通を利用すること、それが大前提だったと思いますので努力をしていきたいと思えます。私がここへ来ようと思えば、5時45分の東城発に乗って、備後落合で乗り換えて7時35分に着くようなことなのですが、それも1回やってみようかなと思えます。やはり

そういう不便さも含めて、実感としてつかむことが必要だと思います。いろんなバス、前回の委員会でも庄原から東城まで高速バスで行くようなことは、皆さん経験したことがありませんでした。そういうのも経験して、どんな方が乗っているかとか、実際に使用してみればよく分かりますので、そういう努力はしていきたいと思います。他にございませんか。ないようでしたら、次回は先ほど言いましたように、新しい計画がもうかなり出来上がりつつあると思うので、進捗状況をお聞きすることにしたと思います。よろしいでしょうか。それでは事務局と担当課と私たちで相談して日程を決め、日程が決まり次第、皆さんにお知らせしますのでよろしくお願い致します。それでは、本日の特別委員会はこれで終了させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

午前11時34分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

地域生活交通に係る調査特別委員会

委員長